

積水ハウス建設 10年間で3倍の“クラフター”1000名計画 採用増の受け入れ・育成体制のさらなる強化

積水ハウスグループの積水ハウス建設ホールディングス（以下、積水ハウス建設）は、高校卒業予定者を中心とした住宅建築を担う社員工“クラフター”の積極採用を2023年より実施しており、10年後の2033年4月時点で約3倍となるクラフター1000名体制を計画しています。前年度に引き続き、採用強化（2023年）前過去3年平均と比べて約3.8倍^{※1}にあたる134名が今年度入社しました。

施工技術を習得できる訓練校に新しく入校するクラフターの家族やこれから生徒を送り出す高校等の教職員を入校式にオンラインで招待し、積水ハウス建設の育成担当者が育成体制を紹介するプログラムを設けます。指導人員の増員や訓練後の育成強化など量と質の両面で育成体制を拡充するなど、積水ハウス建設のクラフターとして働く魅力をさらに向上させていきます。

建設・住宅業界では、職方の高齢化や若年就業者の減少の加速に加え、団塊の世代が75歳以上となり労働力不足等が生じる「2025年問題」や、昨年度過去最多となり建設業が約3割を占める「人手不足倒産」^{※2}などの課題がある一方、国内の底堅い住宅需要への対応と、高い耐震性・断熱性を備えた良質な住宅ストックの形成に向けた担い手が強く求められています。



積水ハウス建設で働くクラフター

【2025年度からの新たな取組み】

- 採用強化
 - ・10年間で約3倍の社員工クラフター1000名体制を計画（24年3月末時点 360名から33年4月時点 1000名に増員）
 - ・25年4月は採用強化前過去3年平均と比べて、3.8倍^{※1}にあたる134名が入社
- 25年入校式
 - ・クラフター入校式を家族・教職員に初めてオンライン公開 育成体制説明会実施
- 訓練校体制強化
 - ・講師役のトレーナー1人あたりのクラフター数を減らし少人数で訓練
 - ・トレーナーを約2倍に増員し受け入れ体制を拡充
- 現場指導体制強化
 - ・現場で指導するチーフクラフター^{※3}の増員 訓練後の育成も強化
- 定着体制整備
 - ・最新のDXを活用した社員の状況把握と速やかなフォロー
- 待遇改善
 - ・25年4月から初任給を最大約3%UP 3年連続（23年最大11%、24年最大9%UP）
 - ・24年4月実施チーフクラフターの待遇を30代年収最大約900万円の大幅改善
→制度実施1年目は前年比40%超増の年収約850万の社員も

積水ハウス建設では“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンの実現に向けて、“クラフター”の積極採用、育成体制のさらなる強化、定着体制の整備を続けることで、質の高い施工力を強化してまいります。

※1 採用強化前過去3年(21-23年)の積水ハウス建設の採用数平均35名/年と比べて約3.8倍

※2 出典：人手不足倒産の動向調査(2024年度)|株式会社 帝国データバンク(TDB)

※3 チーフクラフター：積水ハウス建設の建設現場で、施工チームを率いて安全・効率的に施工する役割、クラフターの指導を担う

【魅力ある積水ハウス建設の“クラフター”】

積水ハウス建設のクラフターはお客様との距離も近く、基礎・建方等の住宅建築を担う社員工としてお客様の安全を守り、家族の幸せを形にする魅力ある職業です。住宅づくりには多様な技能を持つ多能工が求められることから、積水ハウス建設では育成に力を入れ、“クラフター”の魅力をさらに高めます。

【25年度からの新たな取組み】

■採用強化

・採用強化開始から10年間で約3倍の社員工クラフター1000名体制を計画
24年3月末時点で在籍数360名のクラフターを、33年4月時点で1000名に増員することを目標とします。
将来的な視点での施工力の確保を目指して、引き続き採用強化を続けてまいります。

・25年4月は採用強化前過去3年平均と比べて、3.8倍超にあたる134名が入社
24年4月入社及び25年4月入社の採用数は、採用強化前過去3年平均と比べて、3.8倍超にあたる134名となりました。26年4月入社も同程度を見込んでおります。

・キャリア入社の増加と多様化
住宅業界未経験でのクラフターキャリア採用を昨年比35%増の19名採用しました。24年度では初めてとなる元自衛隊職員など、様々な業界から採用を行い、バックグラウンドも多様化しています。積水ハウス建設の充実した育成体制で、住宅業界未経験のキャリア入社もサポートいたします。

■25年入校式

・クラフター入校式を家族・教職員に初めてオンライン公開 育成体制説明会実施
5月7日に開催した入校式の様子を、クラフターの家族・教職員に初めて公開し、オンラインで実施いたしました。入校式終了後には、育成体制の説明会も質疑応答付きで実施し、家族・教職員に充実の育成体制を紹介いたしました。

■訓練校体制強化

・講師役のトレーナー1人あたりのクラフター数を減らし少人数で研修
育成効果を高めるため、躯体外装コースの実習班の人数を約20人以下から15人以下とすることで、一人一人に目が届く適切な人数体制で大幅増のクラフターの技術習得を支援します。



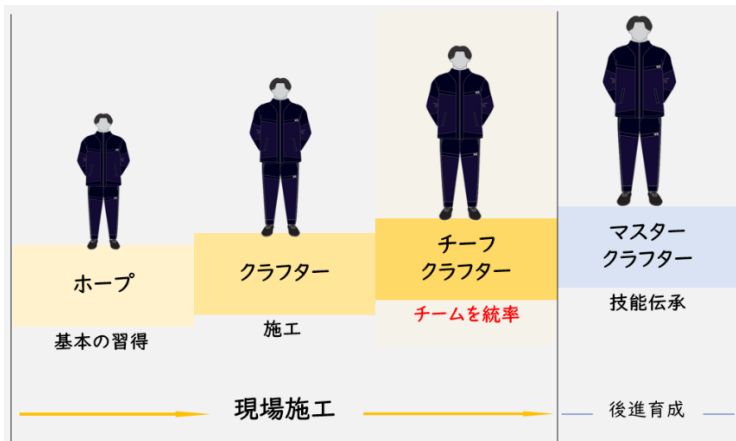
講師役のトレーナー1人あたりのクラフター数を減らすことでより目が行き届く体制に

・トレーナーを約2倍に増員し受け入れ体制を拡充
採用増のクラフターへの育成支援体制を整備するため、訓練校のトレーナー数を23年度から約2倍となる37名に増員を行いました。積水ハウス建設各社から現役クラフターや工事責任者をトレーナーとすることで、現場の技術を多く体験できるようになり、現場に出てからもすぐに実践に移れるようにします。

■現場での指導体制の強化

- ・現場で指導するチーフクラフターの増員 訓練後の育成も強化

積水ハウス建設の施工現場では、チームのリーダー役となるチーフクラフターとクラフターの2~3名の班で施工を行います。採用強化により増員したクラフターを確実に育成するため、現場で指導を行うチーフクラフターの増員が必要となります。現在73名のチーフクラフターを2025年中に40名増員の113名を計画しています。また、各々で情報交換ができる交流会や、指導に活かせる研修なども実施し、チーフクラフター自身の育成力向上も図ります。量と質の両面で現場の指導体制強化を行います。



クラフターの等級一覧



チーフクラフターの交流会・指導研修風景

■定着体制整備

- ・最新のDXを活用した社員の状況把握と速やかなフォロー

新クラフターが安心して働き続けられる、定着サポートサービスを24年10月から試験運用しており、本年より運用を始めます。クラフターに毎月アンケートを配信し、全国の積水ハウス建設の育成担当者が回答を確認することで、コンディションが低下したクラフターをタイムリーに検知し、速やかに面談等のフォローを行います。



最新のDXを活用することで、最適なタイミングでフォローが可能に

■待遇改善

25年4月から初任給を最大約3%アップ。アップは3年連続(23年最大11%、24年最大9%UP)となりました。また24年4月から、チーフクラフターの待遇を大幅に改善し、30代で現在年収500~600万円から、最大約1.8倍にあたる最大約900万円まで引き上げており、制度実施1年目は前年比40%超増の年収約850万の社員も現れました。クラフターが仕事に集中して働きやすく、一生涯安心して良質な住宅建築に貢献できるよう就業環境を整備します。